

白馬村健康づくり推進協議会 会議録（要約）

召集年月日	平成２２年３月１日（月）午後４時００分			
召集の場所	白馬村役場 庁議室			
開閉会の日時	開 会	平成２２年３月１日(月)午後４時００分	保健介護 係長	津滝 明子
	閉 会	平成２２年３月１日(月)午後４時４５分	会 長	栗田 裕二
出席者数	委員数 １２名の内 出席者１２名			
出席委員	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	委 員	渡邊 禎子	委 員	内川 賀介
	委 員	松澤 かよ子	副会長	下澤 弘嘉
	会 長	栗田 裕二	委 員	和田 雅子
	委 員	小田 高平	委 員	牟礼 悌子
	委 員	有馬 百合子	委 員	篠崎 孔一
	委 員	横田 廣江	委 員	松澤 衛
事務局	住民福祉課 保健介護係長	津滝 明子	住民福祉課 管理栄養士	下川 玲
	住民福祉課 主幹(保健師)	内山 明子	住民福祉課 保健師	稲垣 まゆき
傍聴者	なし			

欠席委員 なし

1 開 会

〔事務局：津滝係長〕 開会を宣言した。

2 あいさつ

〔議長：栗田会長〕

3 協議事項

（1）平成20年度白馬村保健事業評価について

〔議長：栗田会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：稲垣保健師〕 「資料1」に基づき、平成20年度保健事業評価について説明した。

〔議長：栗田会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔内川委員〕 「各種検診及び健康診査等事業」－各種がん検診の「受診者数」・「要精検者数」・「精検受診者数」について、詳細をご説明いただきたい。

〔事務局：工藤〕 受診者数はがん検診受診者全体を示し、要精検者数は検診結果により精密検査を必要とする方の人数、精検受診者数はこの要精検者のうち、医療機関にかかり精密検査を受診した方の人数を示す旨を伝えた。

〔内川委員〕 「介護予防事業」に記載の「一般高齢者」・「特定高齢者」について、詳細をご説明いただきたい。

〔事務局：内山〕 一般高齢者とは、65歳以上の高齢者全体を対象とするのに対し、特定高齢者とは、筋力・口腔機能低下や、低栄養、閉じこもり傾向等により、介護保険への移行が危惧される高齢者のことを指す旨を説明した。

〔議長：栗田会長〕 他に意見を求めたが特になく、次の議事へ進んだ。

（2）平成22年度白馬村保健事業計画案について

〔議長：栗田会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：工藤〕 「資料2」に基づき、9事業に分けて来年度の重点施策等について、次のとおり説明した。

「1 母子保健事業」について、従来の2歳児健診の健診内容に加え、集団遊びの中における幼児の発達をみることで、情緒障がい・発達障がいの早期発見を図ること、またふれあいセンターで実施していたマタニティ教室・離乳食教室を、子育て支援の場として定着している子育て支援ルームにおいて実施すること、経過観察児育成指導については未就園児を対象とし、個別支援の充実等を図る予定である。

「2 健康教育・健康相談事業」について、生活習慣病予防を重点テーマとし、月数回の定期健康相談日を設け、保健師・管理栄養士による個別相談のほか、健康チェックの機会づくりを考えている。

「3 各種検診及び健康診査等事業」について、例年通りの検診実施とともに、各検診とも受診率・精検受診率向上に努めるほか、女性特有のがん検診事業については来年度も継続実施予定である。

「4 精神保健福祉事業」について、自殺対策事業として、講演会や学習会、相談会等の実施を予定している。

「5 感染症予防事業」について、昨年新型インフルエンザ流行時と同様、今年度においても発生状況に応じ、国や県からの情報が迅速に住民に行き届くような体制づくりに努めたい。

「6 予防接種事業」について、乳幼児における日本脳炎定期接種については、平成17年度から接種勧奨を見合わせているところであるが、来年度から再開の見通しで協議がなされている。現在のところ、国からの正式通知はないものの、実施再開となり次第、情報提供及び対象児への接種を予定している。

「7 介護予防事業」について、地域介護予防活動支援事業として、地区の自主グループやNPO等地域資源の活用を図るよう努めたい。

「8 地区組織」について、地域での自主活動をはじめ、保健衛生活動を行う各組織の育成に努めたい。

「9 特定健診・特定保健指導」について、従来午前のみの実施であった健診時間を、午前午後の終日、及び夜間や休日に拡大し、健診受診率向上に努めるとともに、従来から要望のあった社保加入者における健診受け入れを予定している。

〔議長：栗田会長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔議長：栗田会長〕 会長自ら次のとおり質問した。来年度においても「6 予防接種事業」―「高齢者季節性インフルエンザ」助成事業が掲載されている。予算計上等の都合によるものかと思うが、受診患者からの要望も多く寄せられる、乳幼児への季節性インフルエンザ接種についても助成事業導入を検討していただきたい。

〔事務局：津滝〕 乳幼児への事業導入を考える上では、対象者数が多い等の理由により導入が難しい現状となっている。その一方で、来年度からは福祉医療の受給対象を小学1年生から中学3年生まで拡大し、子育て家庭への負担軽減を図ることになっている。

〔議長：栗田会長〕 「9 特定健診・特定保健指導」について、社保受け入れとはどのような体制を予定しているのか？

〔事務局：工藤〕 従来、村での特定健診は国保加入者のみの受診受け入れであり、社保加入者は、事業主から指定された医療機関で受診しなければならず、村内をはじめとする近隣の医療機関で個別に受診する体制が十分でなかった。そこで、社保加入者における健診受診の地理的な負担軽減を図る目的で、社保加入者においても、事業主から受診券をもらい、村の国保健診会場であるふれあいセンターにおいて、同様に健診を受けることができるような体制をとる予定である。なお、受診料や検査項目等については事業主ごとに異なり、村としては社保加入者への健診会場提供のみとなる。

〔議長：栗田会長〕 他に意見を求めたが特になく、次の議事へ進んだ。

(3) その他

〔議長：栗田会長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：津滝〕 その他の事項として、自殺対策事業に関するリーフレット、及び「地域医療をともに考えるシンポジウム」パンフレットを配布し、委員はじめ関係機関への周知・参加を呼びかけた。

4 閉 会

〔議長：栗田会長〕 閉会を宣言した。

終了 16:45

以 上